

年度評価シート

課名 緑地政策課

施設の名称 あさはた緑地交流広場	指定管理者名 (一社) グリーンパークあさはた
<p>1 履行状況</p> <p>令和5年4月28日付けにて提出された事業報告書の内容を確認し、その内容について、ヒアリング調査を実施した結果、協定書のあさはた緑地交流広場事業計画書に沿って、業務が概ね適切に履行されていることを確認した。</p> <p>(1) 実施事業</p> <p>利用者への対応、トラブル対応、施設の維持管理等について、適切に履行されていることを確認した。施設の維持管理においては、1日2回の園内巡回を行い、利用者へのヒアリングを行いつつ、専門的知見から園内の生態系の保全に関するアドバイスを受けるなどし、利用者の利便性と自然環境との共生に努めつつ支障木への対応、除草作業を行った。</p> <p>(2) 実施体制</p> <p>常に3名以上の職員が常駐、定期的な接遇研修、危険予知研修を実施し、適切な人員体制が構築されていることを確認した。業務の繁忙期においてはスタッフを増員するなどして、利用者サービスの向上に努めた。</p> <p>(3) 各種事業・イベント</p> <p>指定事業、自主事業、各種イベント等について、新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベントの名称変更、実施内容の変更があったが、20種類程度、50回以上のイベントが適切に履行されていることを確認した。また、計画していた事業以外にも、昨年度から継続していた地元物産の販売イベントを月2回の定例イベントとして行い、運営の理念に従い、地域住民による公共空間の活用の機会を積極的に提供した。</p>	
<p>2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）</p> <p>市民からの利用に伴う苦情・意見について、定期報告、事業報告書及びヒアリング調査により、適切に対処していたことを確認した。</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターハウス入口の一角を「お絵描き広場」のイベントで子供達の落書きスペースとして開放されていた際、付近に他のイベント資材を搬入する車が通りすぎた。親が子供を呼び寄せたため大事には至らなかったが、今後このような状況を作り出すことが無いような運営をお願いしたい。 <p>→以降、「お絵描き広場」のイベントを実施する際は、車が接近しないよう、カラーコーンとバーを設置した。</p> <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとして可能な範囲であさはた緑地交流広場の管理運営に携わりたい。 <p>→同様の要望が多く寄せられていたことから、イベントの前日準備、当日の運営などにボランティアとして携わっていただいた。参加条件や活動内容が煩雑化していたこ</p>	

とから、参加していただいたボランティアの方と意見交換を行うなどして、ボランティア保険への加入を義務付けるなどした「あさはた緑地サポーター制度」を確立し、令和5年度から制度の本格的な運用を始める。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

来園者を対象（全2回、計161人）に、あさはた緑地交流広場において①園内は安全で快適だと思えるか？②園内の清掃は行き届いているか？③再度利用したいか？の質問項目を設け、A（100%）、B（75%）、C（50%）、D（25%）、E（0%）の5段階評価でアンケートを行った。

昨年度と同様、園内満足度95%以上に相当する回答を得ており、利用者のニーズに沿った管理運営が継続的に実施されていると確認した。

また、定期的アンケート以外にもイベント毎に参加者へアンケートを実施し、他にどのようなイベントの開催を望むかなどの意見調査を行い、可能なものをイベントや運営に反映させた。今後も、さらなる市民（利用者）の満足度向上のため多様なイベントの実施を期待したい。

4 指定管理者の経理状況の評価

予算科目の一部で組み換えを行なった。遺失物法に基づき所有権が失効したおもちゃの貸し出し、データ共有サービスの利用、外灯の季節に応じた点灯時間のこまめな調整により、経費の削減に努めた。主に施設の管理費において余剰が生じたが、指定管理者による、本事業の継続的な発展を目指した正規職員の増員による人件費の増加により、運営全体としては支出超過がみられる。

なお、指定管理者全体としては、指定管理以外の事業収益を加味することなどにより支出超過分を補っている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	-
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	-

令和4年度の総括的な評価としては、事業計画に基づき業務を的確に実施している。地元自治会や麻機遊水地保全活用推進協議会所属の各団体とも随時意見交換を行い、良好な関係を築いている。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。